

# 暫間補綴用インプラント HMインプラント

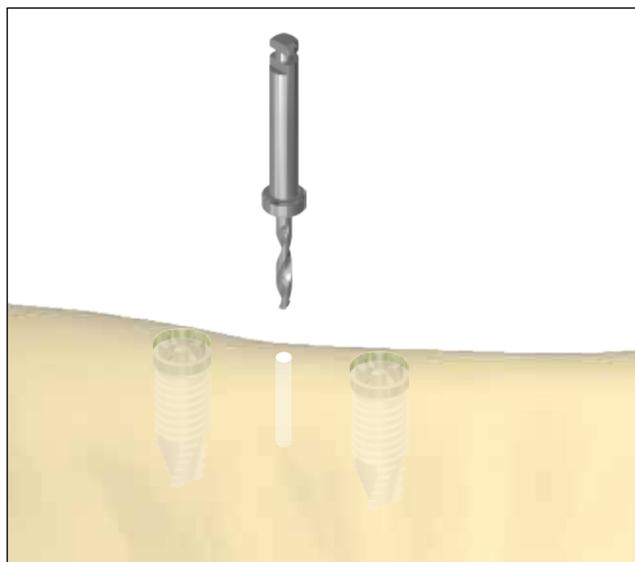
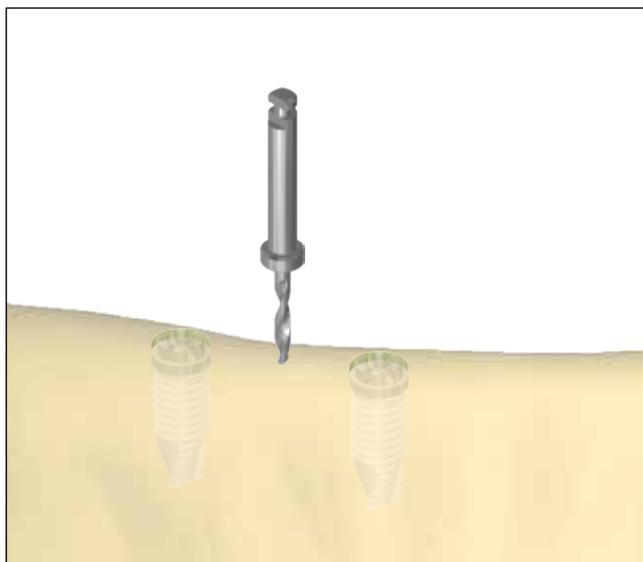
— 外科マニュアル —



優ビル歯科医院 林 揚春先生 監修

## Step 1

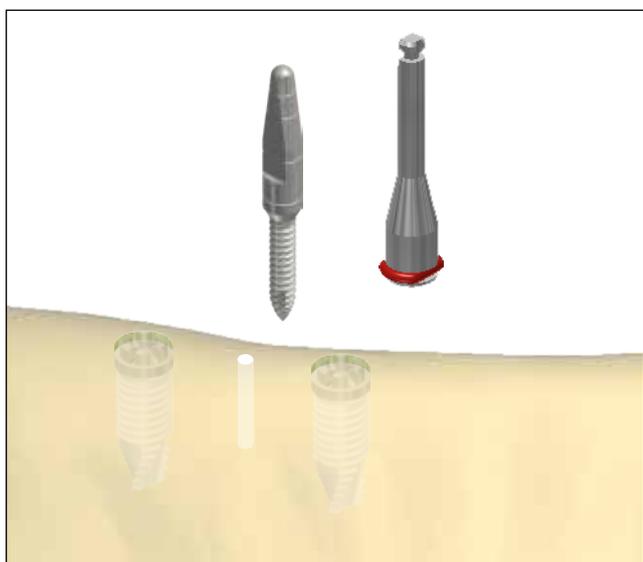
従来法で埋入されたフィクチャーから、十分な間隔(3mm)があることを確認します。「1.3mmDドリル ショートタイプ(10mmL:NS0002)または「1.3mmDドリル ロングタイプ(13mmL:NS0003)」を用いて、皮質骨歯槽頂部を貫通します。「HMインプラント」の長さに応じ、10mmまたは13mmに達するまでドリリングを行います。



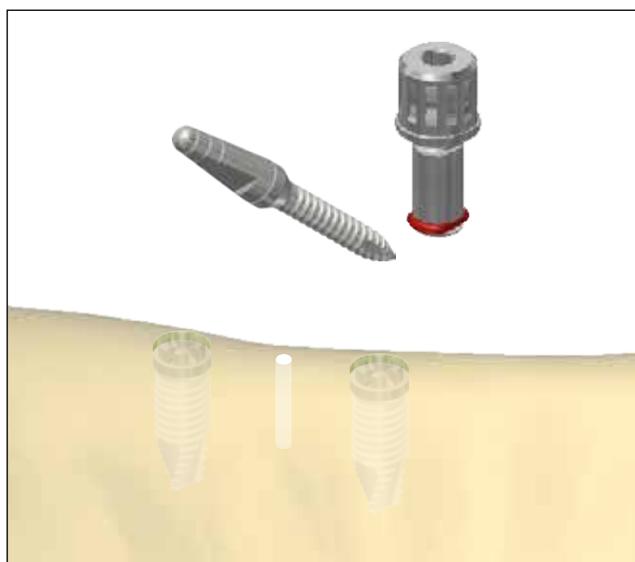
## Step 2

ハンドピースを用いて「HMインプラント」を埋入する際は、「HMインプラントドライバー ハンドピースタイプ (PR0041)」をハンドピースに装着します。その際の回転数は30rpm以下、埋入トルク値は15Ncm以下で埋入し、30Ncm以上の過度なトルクをかけないように注意してください。

「トルクラチェット (Z00007)」を用いて「HMインプラント」を埋入する際は、「HMインプラントドライバー ラチェットタイプ (PR0042)」をトルクラチェットに装着します。その際の埋入トルク値も同様です。



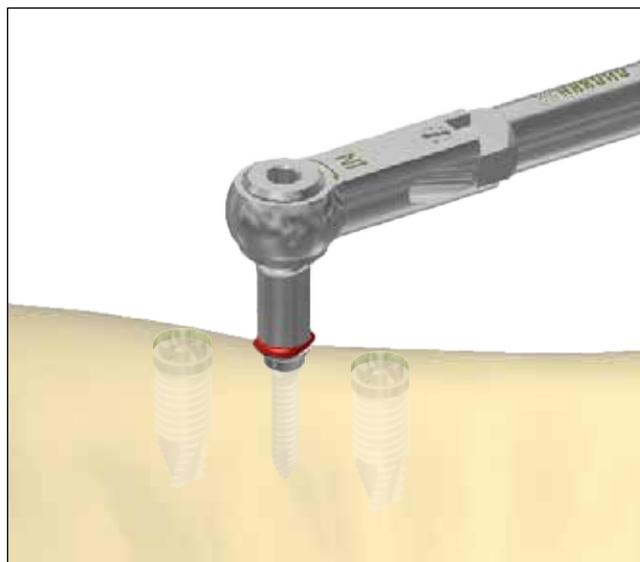
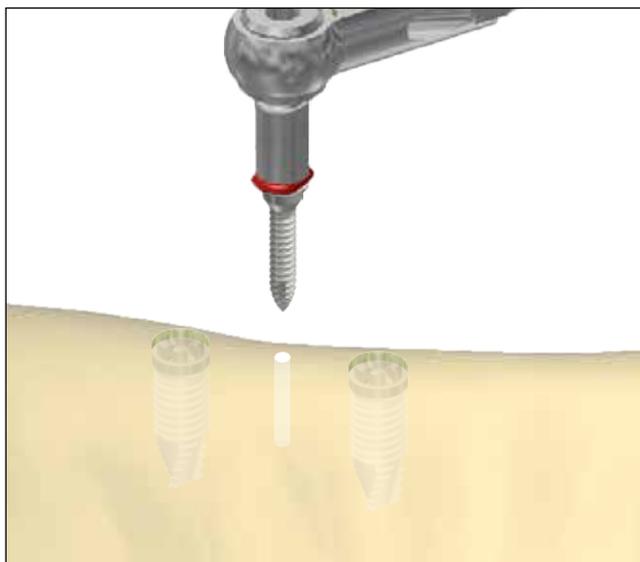
HMインプラントドライバー ハンドピースタイプ  
(PR0041)



HMインプラントドライバー ラチェットタイプ  
(PR0042)

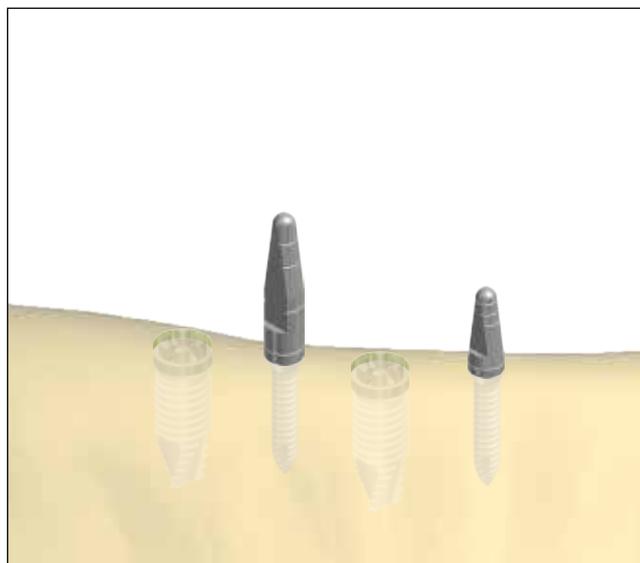
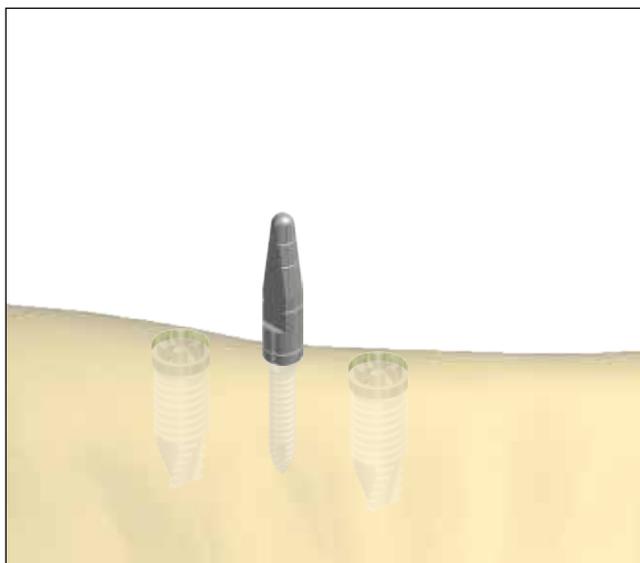
## Step 3

左記“Step 2”で準備したドライバーに「HMインプラント」を装着し、ショルダー部分が歯槽頂の隆線と同じ高さになるまで、骨内に埋入します（裏面の“埋入位置および寸法図”を参照）。その際、初期固定が得られていることを必ず確認してください。



## Step 4

必要な本数の「HMインプラント」の埋入が完了した後、プロビジョナル・レストレーションの作業に移行します。なお、「HMインプラントS」と「HMインプラントL」は、歯肉の厚みやクリアランスにより使い分けます。



## 暫間補綴用インプラント「HMインプラント」を用いた外科術式

「HMインプラント」は、チタン合金(Ti-6Al-4V)製の暫間補綴用インプラントです。フィクスチャーの治癒期間中に、プロビジョナル・レストレーションの装着を必要とする症例において使用します。「HMインプラント」を用いることで、治癒を促進し審美性に優れ機能的なプロビジョナル・レストレーションを患者さまに提供することが可能となります。

「HMインプラント」は、部分欠損および無歯顎の症例に用いることが可能です。術前に診査・診断を行い、適切な治療計画を立案し決定します。**推奨する埋入トルク値は15Ncm以下**で時計方向に行い、**30Ncm以上の過度なトルクをかけないように注意してください**。その際の**回転数は30rpm以下**です。ご使用前に、**必ず製品に同梱の添付文書をご参照ください**。部分欠損の症例では「HMインプラント」を最低2本以上使用し、欠損歯数により使用本数を決定します。無歯顎など複数歯欠損の症例では、埋入部位の解剖学的形態や併用するフィクスチャーとの位置関係について診断の上、「HMインプラント」を連結したブリッジとして使用します。また、フィクスチャーへの接触や、臨在歯根を傷つけないよう注意してください。

### 適応症

- ・無歯顎症例においてフィクスチャーの治癒期間中に、プロビジョナル・レストレーションの装着を必要とする症例。
- ・安定性が高く、審美性に優れたプロビジョナル・レストレーションの即時装着を必要とする症例。
- ・フィクスチャーの治癒期間中、埋入部位の周囲組織の保護が必要な症例。
- ・骨移植領域の早期負荷からの保護を必要とする症例。

### 禁忌症

- ・骨の高さが不十分な場合。
- ・プロビジョナル・レストレーションを適切にサポートする際に、十分な本数の「HMインプラント」が埋入できない場合。
- ・皮質骨がフィクスチャーの安定性を十分に確保できない場合。

### 使用期間

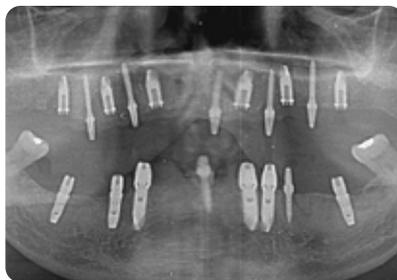
「HMインプラント」の使用期間は、同時に埋入された通常のフィクスチャーの治癒期間(通常、上顎で5~6ヶ月、下顎で3~4ヶ月)や、埋入された部位の骨質により異なります。「HMインプラント」は、フィクスチャーの治癒期間が終了した際に撤去することが可能です。さらに1~2ヶ月間、最終的な補綴物が完成するまでの期間、プロビジョナル・レストレーションを維持させるために使用することも可能です。

### 撤去

「HMインプラント」の撤去は、プロビジョナル・レストレーションを取り外し、頭部に付着しているテンポラリーセメントを除去します。その後、「HMインプラント」を撤去します。ハンドピースを用いて撤去する際は、「HMインプラントドライバー ハンドピースタイプ (PR0041)」をハンドピースに装着します。「トルクラチェット (Z00007)」を用いて撤去する際は、「HMインプラントドライバー ラチェットタイプ (PR0042)」をトルクラチェットに装着します。準備したドライバーを用いて反時計回りに回転させ撤去します。



術前



術後



最終補綴物装着

症例写真提供: 優ビル歯科医院林 揚春先生

●製造販売元

 ZimVie

ジンヴィ・ジャパン合同会社  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町1-1 住友市ヶ谷ビル2F  
TEL.0120-418-890 FAX.0120-118-084

© 2023 ZimVie Japan G.K. All rights reserved. ZVJD0107 2023/03